

## 平成31年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒の個性を尊重し、豊かな人間性をはぐくみ、志を高く時代を切り拓く人材を育てる学校

～ 「茨西PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

- 【生徒に育みたい力】 ◇ 確かな学力を基礎に、高い志を持ち、グローバル社会を切り拓く力  
◇ 生徒が自身に誇りを持ち、社会人として自律できる力  
◇ 母校愛を涵養し、地域そして世界とつながる力
- 【教職員に求める力】 ◇ 同僚性を高め、生徒に真摯に向き合う力



## 2 中期的目標

## 1. “確かな学力”の育成

## (1) 生徒の学習支援の強化

- ア 授業規律の一層の徹底  
イ 学習支援体制の構築と教育産業の有効利用  
ウ 自学自習のハード&ソフトの整備

## (2) グローバル人材の育成

- ア EFHS の取り組みを引き継ぎ、英語四技能習得にむけた教育活動の推進

## (3) 「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」の育成、「学びに向かう力・人間性」を育むための授業力向上

- ア 授業評価のPDCA サイクルによる授業改善と教員相互切磋琢磨できる環境づくり  
イ アクティブ・ラーニング (AL) 及びICT を活用した能動的授業の推進

※ 学校教育自己診断 (保護者版)、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、2021 年度 60%以上をめざす。(H29 : 52%・H30 : 55%)

※ 学校教育自己診断 (教職員版)、AL へ取り組む教職員の割合、2021 年度 90%以上をめざす。(H29 : 88%・H30 : 70%)

## 2. 志高く “社会を切り拓く力”の育成 ▷ 「志をカタチに」

## (1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート

- ア 全方位の進路マップによる、早期の生徒・保護者の進路意識の醸成  
イ 高大連携やフィールドワーク等によるキャリア意識の涵養

※ 第3 学年4 月の進路希望調査 (4 年制大学・短期大学進学者) の実現率、2021 年度 80%以上をめざす。(H29 : 76%・H30 : 62%)

※ 2021 年度、4 年制大学への進学率 60%をめざす。(H29 : 48%・H30 : 35%)

## 3. 生徒が自身に誇りを持ち、将来社会人としての “自律する力” を育む ▷ 「茨西PRIDE」の涵養

## (1) 自律を促す教育活動の展開

- ア 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上

## (2) 安全安心な学校づくり

- ア 人権教育委員会及を中心とし豊かな人権感覚を養うと共に、道徳教育の推進を図る。  
イ 教育相談委員会を中心とした教育相談活動の活性化  
ウ 交通安全教育や防災・防犯教育を通じた危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養

※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「命の大切さ・豊かな心・人権感覚の醸成」に係わる質問の肯定回答率、2021 年度 75%以上をめざす。  
(生徒・保護者回答の平均 H29 : 68%・H30 : 71%)

## 4. 学校・家庭・地域・世界と “つながる力”の育成 ▷ 「TEAM 茨西」の形成

## (1) 各種 HR 活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事を通して多種多様な、つながる力を養う。

- ア HR 活動・生徒会活動及び部活動の活性化  
イ 世界とつながるグローバル市民育成に向けた国際交流事業の一層の推進

## (2) 中高及び小高連携の推進と地域連携の強化

- ア 中高連絡会・地域交流協議会等により地域連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ地域貢献を推進する。  
イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材等を発掘し協力体制を構築する。

## (3) 家庭との連携及びPTA 活動の活性化

- ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行い、学校と家庭で連携した教育を推進する。  
イ PTA 活動の一層の活性化

※ 生徒の行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、2021 年度全て 85%以上をめざす。(H29 : 73%・H30 : 78%)

※ 部活動への一年次当初の加入率、2021 年度 75%以上をめざす。(H29 : 63%・H30 : 64%)

※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、95%以上を維持する。(H29 : 96%・H30 : 95%)

## 5. 教職員の “生徒と向き合う力”の強化

## (1) 教職員がチームで生徒と向き合う

- ア 教職員の教育力を伸ばすための組織的・計画的なプランの策定及び実施、および職員研修の実施  
イ 教職員の働き方改革

※ 教職員向け学校教育自己診断において全ての項目で肯定回答率 90%以上をめざす。(H29 : 4/9 項目・H30 : 5/9 項目)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問全 13 項目中、5 の項目において前年度より肯定的回答のポイントを伸ばし、8項目でダウンした。H30 年度 10/13 項目、H29 年度 8/13 項目、H28 年度 7/11 項目でポイントを伸ばしてきただけに、取組みや計画について再考しなければならない。</li> <li>特に、「学校生活について先生の指導は納得できる」の質問において 11 ポイントと大きくダウンしている。昨年度との違いは、携帯スマホに関して新たな取組みを始めた点が原因かもしれない、学校でのルールの意味やコミュニケーション能力を高める意図など丁寧な説明が必要である。</li> <li>次に、体育祭で 8 ポイント、文化祭で 7 ポイントと行事関係で落としている。しかし、体育祭においては行事直後のアンケートでは 96.7%が肯定的意見だったにも関わらず学校教育自己診断では 69%となっている（文化祭アンケートは満足度の項目なし）。</li> <li>「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会」について 6 ポイントダウンしている。昨年と変わらない取組みを行っているため、アンケートのタイミングで左右されているのかもしれないが、様々な機会を通して伝えるプログラムを考えなければならないため、分析が必要である。</li> <li>教員の授業見学もポイントを落としている。実際、斬年度よりバディシステムの報告用紙の提出が芳しくない。職員会議等で呼びかけていく。</li> <li>「学校に行くのが楽しい」については、昨年に続き 4 ポイントアップした。嬉しいことであるが、100 をめざせるよう授業改善を核に取り組んでいく。</li> </ul> <p>【保護者アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの回収率が 72%と 5 ポイントを落とした（H30：77%、H29：71%、H28：65%）。『学校が家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行っている』の肯定回答 96%と、昨年度よりも高い割合でありながら下落した点が残念である。保護者から学校への声を大切に、学校運営を行っていくことを伝えていかなければならない。</li> <li>質問全 9 項目中、5 項目においてポイントを伸ばし、3 項目でダウン、1 項目は同じであった。</li> <li>大きくポイントを伸ばした質問は「行事」「懇談・説明会」等への参加である。保護者の目が学校に向くことで、学校運営はより円滑に機能する。今後も数字を伸ばしていきたい。</li> <li>「進路実現に向けた適切な指導」の項目も 4 ポイントアップした。今年度の中期目標でもある「保護者の進路意識の醸成」が数字となって現れた。今後もより質の高い発信を続ける。</li> <li>「授業が分かりやすい」と言っている」の項目で 3 ポイント伸ばした。来年度も授業力向上に向けた取り組みの進展を学校ぐるみで進めていく。</li> <li>ポイントを下げた中で、3 ポイントと一番下げ幅が大きい項目は「生徒指導の方針への共感」で、生徒のアンケートにも現れていた。今後、分析を進めていく必要がある。</li> <li>「学校に行くのを楽しみにしている」の項目は、2 ポイントダウンしているが生徒アンケートでは 4 ポイントアップしていた。回答に齟齬があるものの、授業改善等により 100 をめざしていく。</li> </ul> <p>【教職員アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回収率が昨年度 85%から 79%にダウンした。今後も全員の提出を求めていく。</li> <li>質問全 9 項目中、2 項目がポイントアップ、7 項目がダウンした。</li> <li>現時点で総括中であるが、「教育活動全般にわたる評価による計画」で 11 ポイントダウンとなった。様々な教育活動の総括を全体で行い、スクラップ&amp;ビルドを進めながら、教職員の負担とならないような方策を練らなければならない。</li> <li>学校行事についても 10 ポイントと大きくダウンした。大阪北部地震の影響によるもの、行事内でのトラブル等々、様々な要因が考えられるが、分掌任せにするのではなく、教職員全体の課題として取り組む必要がある。</li> <li>その他、ポイントを落とした項目について検証していかなければならない。</li> </ul>	<p>令和元年度 大阪府立茨木西高等学校 第 1 回 学校運営協議会（記録概要）</p> <p>◆日時 令和元年 6 月 21 日(金)午後 3 時 30 分から午後 5 時</p> <p>◆6限目に授業見学を実施（1年英語表現、3年日本史、3年理系化学）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校長挨拶</li> <li>2) 協議会委員並びに事務局員の自己紹介</li> <li>3) 近況報告       <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別棟の改修工事について（教頭）</li> <li>・階段の工事が夏休みから始まり、それが完了すれば全ての施設が復旧する予定。</li> </ul> </li> <li>4) 協議       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業見学を終えて           <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室のプロジェクター、スクリーンを有効活用している。</li> <li>・人数が少ないクラスは少人数展開の授業で習熟度別でクラス分けをしている。英語科以外でも、数学で習熟度減の少人数展開授業を行っている。</li> </ul> </li> <li>② 平成 31 年度学校経営計画について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自律する力」の遅刻者数については、生活指導科だけでなく、学年独自で遅刻者数を見える化するなど啓発する工夫をしている。</li> <li>・吹田の交番で起きた拳銃を持った犯人が逃走した事件について。当日の連絡体制、教職員の情報共有、生徒の各家庭の連絡についてメールマガジンとブログの更新で連絡した。</li> <li>・月当たりの時間外労働が 80 時間を超える教職員へのケアをお願いしたい。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <p>令和元年度 大阪府立茨木西高等学校 第 2 回 学校運営協議会（記録概要）</p> <p>◆日時 令和元年 9 月 30 日(月)午後 3 時 30 分から午後 5 時</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校長挨拶</li> <li>2) 近況報告       <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭が終わり、現在オーストラリアから留学生を受け入れている。</li> <li>・11 月にはベトナムへの修学旅行が控えている。</li> </ul> </li> <li>3) 協議       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成 31 年度「学校経営計画」進捗状況について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・GTEC の導入を決めた。まずは 1、2 年で予行も兼ねて実施し、3 年の受験の準備に繋げる。</li> <li>・各フロアに教員用タブレットを配置するとともに、第 2 情報教室の活用を検討している。</li> <li>・OFIX（大阪府国際交流財団）とは以前から連携しており、国際交流の活性化に有効である。</li> <li>・新企画として若手塾を 1 学期に 3 回実施。主に担任業務や授業改善の支援が目的としている。</li> </ul> </li> <li>② その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地震による復旧工事の進捗状況</li> <li>・メール安否確認について、先日の 880 万人訓練の際にメールによる安否確認を実施。</li> <li>・コンプライアンスの遵守にむけ、教職員には職員会議の度に徹底を呼びかけている。</li> <li>・新指導要領に向けて、校内研修を 2 回実施し、10 月より各教科で検討を実施する予定。</li> <li>・1 年生で「10 分間テスト」を SHR で実施</li> <li>・WEB を利用した動画講習を開講</li> <li>・今年の夏より、体育館とグラウンドに WBGT 計を設置し、熱中症対策を強化。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <p>令和元年度 大阪府立茨木西高等学校 第 3 回 学校運営協議会 【予定】</p> <p>◆日時 令和 2 年 2 月 17 日(月)午後 3 時 30 分から午後 5 時</p> <p>◆場所 大阪府立茨木西高等学校 校長室</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校長挨拶</li> <li>2) 近況報告（教頭より）       <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 年生の修学旅行はベトナムに行ってきた。来年度はグアムの予定。</li> <li>・12 月にマレーシアから中高生を受け入れ、1 年生を中心に交流事業を実施した。</li> <li>・第 2 回運営協議会以降の生徒対応についての詳細説明</li> </ul> </li> <li>3) 協議       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 令和元年度「学校教育自己診断」集計結果について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒版の「学校生活についての先生の指導は納得できる。」が 1 年生に比べて 2 年生の肯定的な割合が 10%近く下がっている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 教員によって指導に差が出ないように、校内でのルールの統一を検討中</li> </ul> </li> <li>・生徒版「体育祭、文化祭は楽しく行えるように工夫されている。」が昨年度に比べて肯定的な割合が低下している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 担当教員の転勤などがあり、不慣れな面が影響した可能性がある。</li> </ul> </li> <li>・アンケートの結果について、2 年から 3 年は前年並みの数字だが、1 年から 2 年で下がっている質問が多い。               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 特に 2 年生に対する手立てが重要</li> </ul> </li> <li>・教職員版「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている」が低下傾向               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 新カリキュラムに向けた研修会などを実施したが、まだまだ課題がある</li> </ul> </li> <li>・学校長より、教職員の総合健康リスクと超過勤務の状況について説明。</li> </ul> </li> <li>② 平成 31 年度「学校経営計画及び学校評価」達成状況（案）について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・（確かな学力）今年度より「動画学習教材」を取り入れ、家庭学習の促進を図った。</li> <li>・（自律する力）「あいさつ運動」「校内緑化運動」など、生徒会執行部を中心に新たに実施した。</li> <li>・（生徒に向き合う力）ミドルリーダーによる「茨西塾」で、10 年経験者研修を受けている教員を講師とした勉強会や、茨木市内の他の高校の先生方との交流会などを実施した。</li> </ul> </li> <li>③ 令和 2 年度「学校経営計画及び学校評価（案）」について           <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度に達成した項目を継続して次年度に取り組みたい。</li> <li>・新規の項目については、実施してみないとわからない部分はあがあるが、実施して終わりとならず、「広がりのある展開」を期待したい。</li> </ul> </li> <li>④ その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による校舎損傷箇所について、普通教室棟の階段や教室内の改修を次年度順次進めていく。</li> <li>・スマホの使い方について、次年度以降も生徒と考えていく予定である。</li> <li>・学校後援会より熱中症対策のミスト発生器や自習室の空調設備などの寄贈を受けた。</li> <li>・入試が安全志向から超安全志向に変わってきている。本校生徒も苦戦気味である。</li> <li>・1 年生は、毎日の SHR で「10 分間ドリル」を継続しており、生徒に定着してきた。</li> <li>・2 年生は、ベトナムの修学旅行について満足した生徒が多かった。</li> <li>・3 年生は、もうすぐ卒業を迎えるが、現在まだ卒業が確定していない生徒の指導中である。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

## 府立茨木西高等学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の一層の徹底</p> <p>イ・新学習指導要領への対応 ・学習支援体制の構築 ・教育産業の有効利用</p> <p>ウ・勉強合宿による自学自習力の向上 ・自学自習の環境整備及び運用</p> <p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語教育の一層の推進</p> <p>(3) 授業力向上 ア・PDCA サイクルによる授業改善 ・教職員が切磋琢磨できる環境づくり</p> <p>イ・アクティブ・ラーニング (AL) の推進 ・ICT 活用推進</p>	<p>(1) ア・授業規律の徹底と、聞かせる態勢づくり、ほめる授業の実施</p> <p>イ・魅力あるカリキュラムマネジメント ・長期休暇中の講習や隙間学習の充実 ・教育産業を利用した講習の充実</p> <p>ウ・勉強合宿の継続実施 ・自習室及び質問コーナー活用推進</p> <p>(2) ア・英語四技能習得に向けた取組み</p> <p>(3) ア・授業アンケートの振り返りによる改善 ・授業マスターの指名とパディシステムによる授業見学の一層の活性化</p> <p>イ・AL 研修及び教受法の紹介 ・ICT 機器の充実と第二 LAN 教室の有効利用</p>	<p>(1) ア・授業規律を守る生徒の割合の向上 (H30:88%)</p> <p>イ・新指導要領に向けた取組み新規 ・長期休暇中の講習及び「隙間学習」への参加人数 ・教育産業を利用した講習の見直し及び質疑参加者の増加新規</p> <p>ウ・勉強合宿参加者のアンケートの肯定回答 90%以上を維持 (H30:90%) ・自学コーナーの活用者数の増加</p> <p>(2) ア・英語四技能検定の実施と PDCA サイクルの構築新規</p> <p>(3) ア・授業の振り返りシート提出と授業改善に係わる面談回数の増加 ・パディシステム利用数 120 回以上を維持 ・授業マスターの指名と研究授業の活性化</p> <p>イ・AL 取り組む教職員の割合増加 (H30:70%) ・教職員の ICT 利用率向上 (H30:79%) と ICT に係る研修実施</p>	<p>(1) ア・授業規律を守る生徒の割合 89% (○)</p> <p>イ・職員研修を 2 回実施、各教科で検討中 (○) ・長期休暇中の講習参加者、延べ 100 名超、全員対象の 1 年隙間学習を全学期実施 (○) ・新企画、動画による学習会に 33 名参加 (○)</p> <p>ウ・勉強合宿は行事見直しにより未実施 (△) ・自習室ならびに質問スペースなどの自学コーナーは毎日活発に活用 (○)</p> <p>(2) ア・GTEC 活用予定のところ大学英语成績活用システム実施延期により未実施 (△)</p> <p>(3) ア・授業アンケート前後期ともシート回収済み。また指導助言面談を複数回実施 (○) ・パディシステム利用数 122 回 (○) ・授業マスターの指名、授業見学実施済み (○)</p> <p>イ・AL に取り組む教員率 80% (○) ・ICT 利用率 81%。 タブレット型 PC 及び第 2 情報室の使用について講習会を実施 (○)</p>
社会的な能力	<p>(1) キャリアサポート ア・進路に係る早期の意識づけ ・希望の進路実現</p> <p>イ・キャリア意識の涵養</p>	<p>(1) ア・保護者との進路スケジュール等の共有 ・進路実現に向けたサポート強化</p> <p>イ・高大連携の強化及び見直し ・フィールドワーク等を通じたキャリア意識の涵養</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断 (保護者) 「適切な進路指導」肯定回答率アップ (H30:69%) ・進路実現率 75%以上新規</p> <p>イ・高大連携に係るアンケート肯定回答 70%以上新規 ・フィールドワーク等に係るアンケート肯定回答 70%以上新規</p>	<p>(1) ア・「適切な進路指導」に係る肯定率 73% (○) ・進路実現率 73% (○)</p> <p>イ・約 90% の回答に「進路を考える上で役立った」等の肯定的な記述があった。(○) ・約 90% の回答に「将来を考える機会となった」等の、肯定的な記述があった。(○)</p>
自律する力	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・基本的な生活習慣の確立 ・規範意識の向上</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・人権感覚の醸成 ・道徳教育の推進</p> <p>イ・教育相談活動の活性化</p> <p>ウ・交通安全指導の徹底 ・防災教育の強化 ・災害発生の迅速な対応 ・防犯教育の強化</p>	<p>(1) ア・生活指導の基本方針を周知 ・遅刻防止指導の徹底 ・生徒会主催の規範意識向上の企画</p> <p>(2) ア・計画的な人権教育の推進 ・計画的な道徳教育の推進</p> <p>イ・教育相談ニュース等による、窓口広報と活動の活性化</p> <p>ウ・入学時の交通安全指導の徹底 ・保護者、地域と連携した通学安全指導の継続 ・防災訓練を通じた共助意識の涵養 ・災害時マニュアルの見直しと連絡網の構築 ・防犯教育の強化</p>	<p>(1) ア・IBANISHI ガイドによる指導方針の伝達新規 ・遅刻者数 5%ダウン (H30:3792 名) ・規範意識向上に向けた新企画の実施</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断 (生徒) 「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率アップ (H30:69%) ・道徳教育、茨西スタンダードの策定と実施新規</p> <p>イ・学校教育自己診断 (生徒) 「相談」に係る項目の肯定回答率アップ (H30:57%)</p> <p>ウ・登下校時の事故数の減少 (H30:22 件) ・通学安全指導の年 10 回以上継続実施 ・地域と連携した防災訓練の実施 ・マニュアル改訂と双方向の連絡体制の構築新規 ・防犯に係る研修の実施</p>	<p>(1) ア・ガイドを通じた方針説明済み (○) ・2 学期までの遅刻者数 3231 名、15%ダウン (○) ・「あいさつ運動」「校内緑化運動」を新たに実施 (○)</p> <p>(2) ア・「命の大切さ、社会のルール」に係る肯定率 63% (△) ・スタンダードを策定し、計画に則った講演棟を実施済 (○)</p> <p>イ・「相談」に係る肯定率 56% (△)</p> <p>ウ・登下校時の事故数 16 件 (○) ・通学安全指導 14 回実施 (○) ・行事調整がつかず未実施 (△) ・880 万人訓練の際にメールによる安否確認を初実施、ハザードマップを活用したマニュアル改定 (○) ・職員会議の中で実施 (○)</p>
つながる力	<p>(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・HR 活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の活性化</p> <p>イ・世界とつながる力の涵養</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ア・中高連携の強化 ・地域連携の強化</p> <p>イ・同窓会活動の活性化 ・外部の教育に係わる人材発掘</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ア・きめ細かい家庭との連携 イ・PTA 活動のより一層の活性化</p>	<p>(1) ア・計画的なロングホームルーム (LHR) の実施 ・生徒主体の生徒会活動 ・部活動参加生徒数の増加</p> <p>イ・海外修学旅行の継続実施 ・オーストラリア留学生受入の成功 ・海外高校生訪日の受入</p> <p>(2) ア・連携 3 中学校との連携協議会の開催と連携強化 ・地域交流協議会の開催と地或行事への参加</p> <p>イ・同窓会との関わり強化 ・同窓会による同窓会人材バンクの有効利用</p> <p>(3) ア・メール配信・封書連絡等を通じ、学校との連携強化 イ・PTA 活動のより一層の活性化</p>	<p>(1) ア・LHR 計画を全学で共有する。 ・生徒会行事における満足度アップ (H30:77%) ・1 年生の部活動加入率 70%以上 (H30:64%)</p> <p>イ・海外修学旅行の満足度 80%以上 ・オーストラリア留学生受入ホームへのアンケート実施と肯定回答 70%以上新規 ・国際交流行事への参加者の肯定的な感想</p> <p>(2) ア・連携 3 中学校との連絡会及び出前授業、研修会等の交流の実施 ・地域交流協議会の実施と穂積及び春日丘小学校区の行事へのボランティア参加に係る生徒の肯定的な感想</p> <p>イ・同窓会人材バンクを活用した取組みの実施新規 ・現役生徒への同窓会による支援</p> <p>(3) ア・保護者への情報伝達に係る肯定回答率 95%以上を維持 (H30:95%) イ・PTA 実行委員会の総会議での肯定意見</p>	<p>(1) ア・LHR 計画を学年主任会議で調整し職員会議で共有 (○) ・行事アンケート満足度 84% (○) ・1 年生の部活動加入率 70% (○)</p> <p>イ・ベトナム修学旅行満足度 90% (○) ・オーストラリア留学生受入れ肯定回答 83% (○) ・OFIX (大阪府国際交流財団) との連携行事並びにマレーシア高校生との交流で「国際理解が深まった」等、肯定意見多数 (○)</p> <p>(2) ア・連携中学校への「総合的な学習」への出前授業実施 (○) ・地域交流協議会実施済み ボランティア参加生徒の感想は「交流が深まった」等、概ね良好 (○)</p> <p>イ・卒業生がオープンスクールで体験発表 (○) ・憩いの場づくりで、屋外用ベンチやテーブルを複数作成 (○)</p> <p>(3) ア・「家庭への連絡や意思疎通がきめ細かい」の肯定回答 96% (○) イ・総活会で「子ども以上に楽しめた」等、好意的な意見多数 (○)</p>
生徒に向き合う力	<p>(1) チームで生徒と向き合う ア・組織的、計画的なプランの策定及び実施 ・経験の少ない先生方やミドルリーダーの育成</p> <p>イ・教職員の働き方改革</p>	<p>(1) ア・面談等を通じた適材適所の人材配置とクリティカルな研修実施 ・QC サークル等の活動の活性化</p> <p>イ・校務の精査とチーム力の向上</p>	<p>(1) ア・教職員向け学校教育自己診断の回収率を高め、質問項目の 4 項目以上でのポイントアップ新規 ・職員研修での肯定回答 70%以上新規 ・QC サークルの継続実施と新企画の展開新規</p> <p>イ・月当たりの時間外労働が 80 時間を超える教職員の減少 (H30 延べ:21 名)</p>	<p>(1) ア・教職員向け自己診断回収率 79% (H30:85%)、質問でのポイントアップ 2 項目 (△) ・PCAGIP 法を用いた教育相談研修参加者の 90%以上が肯定回答 (○) ・QC サークル 3 回実施、新企画ミドルリーダーによる「茨西塾」開講 5 回 (○)</p> <p>イ・12 月時点で 80 時間を超える教職員、延べ 20 名 (○)</p>